

世界をリードする 「国際金融都市・東京」の取組



東京都 産業労働局 総務部 国際金融都市推進課
国際金融都市推進担当課長 藤村 宏治

「国際金融都市・東京」構想

サステナブル・リカバリーを実現し世界をリードする国際金融都市へ

Green

グリーンファイナンス の推進

- ・グリーン/ソーシャル/トラ
ンジションボンド発行に係
る外部費用の支援 等

Digital

金融の デジタライゼーション

- ・東京金融賞を通じたフィン
テック企業の成長支援 等

Player

金融関連 プレイヤーの集積

- ・外国企業・人材の誘致
- ・ビジネス・生活環境の整備



Promotion

東京の都市・企業の魅力の
海外プロモーション



NYでの海外プロモーション



シティ・オブ・ロンドンとの連携

「金融・資産運用特区」への対応

国が掲げる資産運用立国の実現に向け、
東京がその牽引役となるべく国への提案を実施

国際金融都市・東京の目指す姿

サステナブルな社会を実現する
「アジアのイノベーション・金融ハブ」

【取組の3つの柱】

サステナブルファイナンス
の先進都市

グローバルに活躍する
スタートアップが
生まれる都市

“英語でビジネス”
グローバルスタンダード
な都市

昨年、国が「金融・資産運用特区実現パッケージ」を公表し、
東京都は金融・資産運用特区に指定

「アジアのイノベーション・金融ハブ」に向けて

世界有数の金融資本市場や潤沢な個人資産という東京の強みを活かし、
グローバルに資金・人材・技術・情報を呼び込むゲートウェイとして、
日本・アジア全体の成長に貢献



海外からの投資呼び込みに向けた取組例

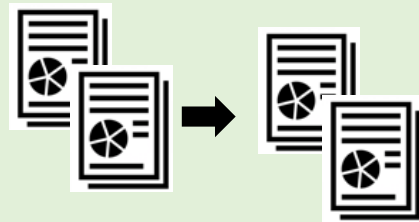
FinCity.Tokyoと連携し、**企業の英語によるIR情報の発信を支援**

英文IR作成支援

✓エクイティストーリーの構築

ESGなど海外投資家の関心やトレンドも加味した「刺さる」ストーリーを提案

✓IR資料の英訳



✓海外投資家とのコミュニケーションのアドバイス

✎ グロース・スタンダード市場の企業向けに
これまで4年間で**47社**を支援

英文IR人材育成講座

✓ IR専門家等による実践的な講義を 東証とも連携し実施



✎ 昨年度は2回開催し、延べ**1,200人**超が聴講

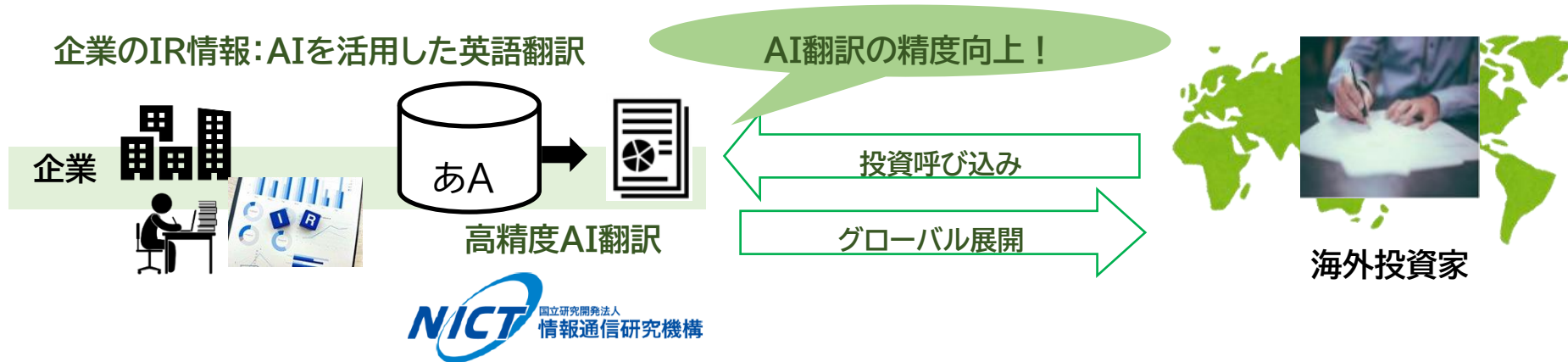
✓ 昨年度は、IR担当者を対象とした **英文IRワークショップ**を新たに開催

✎ 昨年度は7月及び1月に開催し、延べ**86人**が参加

グローバルスタンダードな都市に向けた取組①

✓ 英文情報開示におけるAI翻訳システムの活用促進

海外から日本の企業活動を“見える化”する英文情報開示の拡大に向け、
高度AI翻訳システムの精度向上と活用を促進



✓ 機械翻訳の現状

- ・機械翻訳は、近年、AIによって目覚ましく高精度化
- ・既に、特許、製薬、海外規制、科学技術論文等多くの分野で補助ツールとして日常的に利用

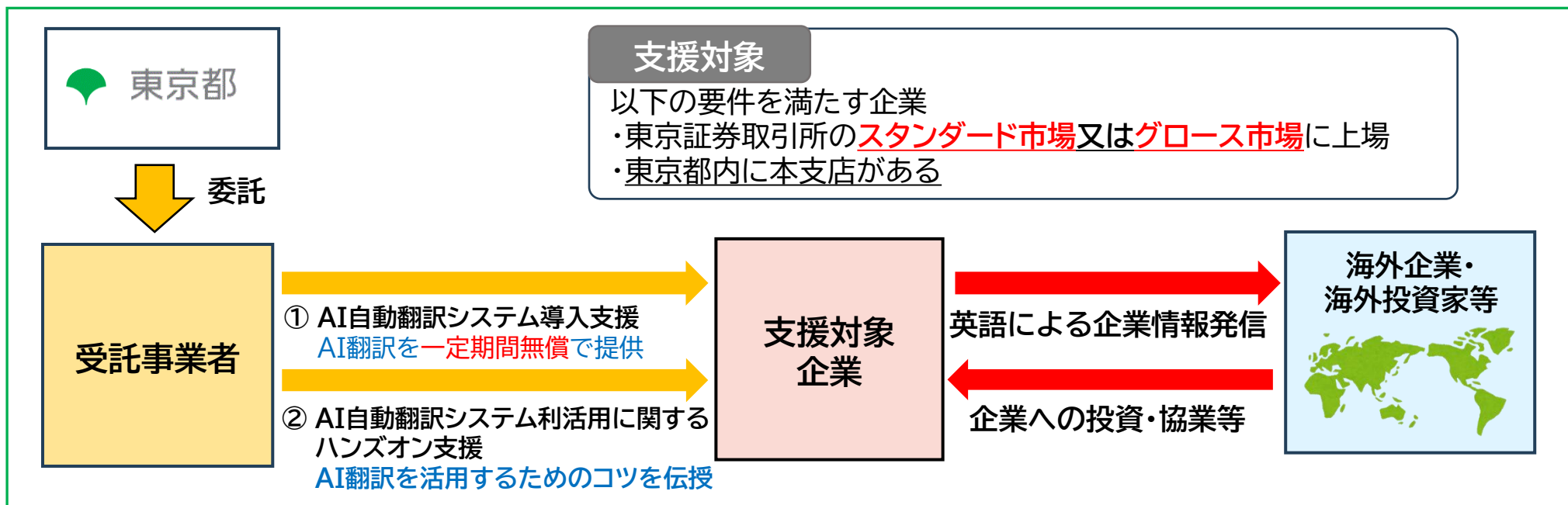
✓ 機械翻訳の長所

長所	意義
翻訳時間は人間とは比較にならないほど速い	使いこなせると時短・働き方改革につながる
24 時間 365 日無停止でいつでも利用できる	夜や休日に発生する案件も多いので便利
記憶容量が大きいので専門用語に強い	人間と違って瞬時に記憶し忘れない

(東京証券取引所発行「英文開示実践ハンドブック」より)

グローバルスタンダードな都市に向けた取組②

✓ AI自動翻訳システムを活用した英文情報開示支援事業



当事業の詳細は、受託事業者(株式会社川村インターナショナル)の以下のWebにて！

<https://ldxlab.io/machine-translation-ir-tokyo>

適時開示やIR関連文書の英文開示に向けて、AI自動翻訳システムの3ヶ月無料およびハンズオン支援を提供

株式会社川村インターナショナルは、東京都の委託業務を受託し、スタンダード市場またはグロース市場に上場し、東京都に本社または支社（支店）を有する企業様向けにAI自動翻訳システムの無償提供と専門スタッフによるハンズオン支援を2025年8月より開始します。国際金融都市・東京の発展に不可欠な英開示文書を英文化を、AI技術と専門知識で強力にサポートします。まずは3ヶ月間、無償でAI翻訳システムをお試しください。

今すぐ無料相談・資料請求 →

「AI自動翻訳システムを活用した英文情報開示支援事業」支援内容

企業の費用負担なし！

先着100社限定！



A nighttime aerial view of a dense urban landscape, likely Tokyo. The skyline is filled with numerous skyscrapers and buildings, many of which are illuminated with warm yellow and orange lights. The sky is a deep blue. A semi-transparent white rectangular box is centered over the middle of the image, containing the Japanese text "ご清聴ありがとうございました" in a bold, black, sans-serif font.

ご清聴ありがとうございました

英文IR人材育成講座 2025

海外IRの第一歩 ～戦略的発信でストーリーを届ける～

ハーディ 智砂子

ハーディ 智砂子 Chisako Hardie

前AXA Investment Managers(英国)日本株アクティブ運用責任者



東京都に生まれる。慶應義塾大学文学部社会心理教育学科卒業。1990年から英国スコットランド・エジンバラ在住。現地の生命保険会社や資産運用会社などで投資業務を歴任。2006年よりフランスの大手保険グループAXA（アクサ）の資産運用会社、AXA Investment Managersにて、日本株アクティブ投資の責任者を務める。2023年12月末同社退社。2024年4月より、ジェイ・ユーラス・アイアールのアドバイザーに就任。

主要著書等：

『古き佳きエジンバラから新しい日本が見える』（2019年、講談社+α新書）

『日本株はどこまで上がるか』（2023年、クルーグマン氏らと共著、宝島社新書）

『世界へ発信しよう、日本から、あなたから』（2025年、キンドル・セルフ出版）

『海外IRの実務』（2025年、ジェイ・ユーラス・アイアールとの共編著、中央経済社）

1. まずは海外投資家に自社の存在を知ってもらう

- 英語の情報発信を始めることが第一歩
 - 会社概要、決算情報、ニュースリリースを英語で発信(ここまでは既にできているのでは?)
- 「誰に何を届けたいか」を意識
 - どこにどんな投資家がいるか。投資の可能性がある投資家をターゲットに、ささるストーリーを届ける。
- 小さく始めて継続することが重要
 - 完璧でなくても、定期的な更新が信頼につながる

2. ストーリーを届ける

■ ファクト＋ストーリー＝投資家に刺さる発信

事業の強み(競争優位・ポジショニング)
差別化ポイント(他社と何が違うか)
成長シナリオ(未来にどう変わるか)

■ シンプルで、英語でも伝わりやすい言葉で → そのコンセプトは海外でも伝わる？

■ ビジュアルを活用 → 図表や一枚絵でメッセージを補強、あるいはショートビデオで企業紹介

3. 海外投資家との継続的な関係づくり

- 対話を重ねることで信頼関係が生まれる
→ 1回のミーティングでは終わらない
- フィードバックを活用
→ 投資家が何を気にしているか、次回の発信に反映
- 長期目線でコミュニケーションを設計
→ 「IR＝短期株価対策」ではなく、企業価値向上のための橋渡し

メッセージ

IRとは、投資家に情報を伝えるだけでなく、
「継続的な対話の場」をつくること。